

凡事徹底

令和7年度 板橋区立板橋第二小学校 学校経営方針

令和7年 4 月 1 日
校長 小澤 裕行

1 学校経営の基本理念

学校は、子供たちの自立を支援するために、必要な技能や知識を学ばせ、集団の中で人間関係の基礎を身に付けさせることが求められています。このことは、単に学習内容を身に付けさせるだけでなく、将来の社会を築く人材の育成を図っていることにつながります。

子供たちは、6歳から12歳までの6年間もの時間を学校で生活します。1日24時間、そのうち睡眠時間や食事の時間などを除いた半分近くの時間を過ごします。子供たちにとって学校はとても大きな存在です。6年間は子供たちの成長に大きな影響を与える時間でもあります。このことを教職員一人一人が強く意識しなければなりません。

そのために、教職員は、保護者、地域、社会の協力を得ながら「確かな学力」「道徳心」「体力」などを身に付けさせ、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に努める必要があります。そして本校の教育目標にある「自分でする子ども」「思いやりのある子ども」「じょうぶな子ども」こそが「生きる力」そのものだのとらえます。また板橋区立小学校として、「板橋区教育ビジョン2025」の実現こそが、人づくりにもつながります。

教育目標や、板橋区教育ビジョン2025の**実現を具現化することは**、板橋第二小学校教職員一人一人に**課せられた責任**であるとともに、板橋第二小学校という組織全体に課せられた課題でもあります。一人一人の力では困難なことも組織としてならば解決できる、組織として力を結集した大きな力で解決していくことが重要だと考えます。全教職員が共通理解だけでなく、**共通指導・共通行動**をとっていく必要があると考えます。

いずれにしても、心掛けることは、「**凡事徹底**」です。一人一人がやるべきことを一つ一つしっかりやることに尽きます。

2 板二小が目指す学校像

○子供たち、先生たちが元気な学校

全ての中心は、子供たちです。子供たちが元気でなければ、何の意味もありません。また、それらを導く先生方が元気でなければ、子供たちを元気にすることはできません。教育改革が叫ばれ、制度が変わっても、学習内容が変わっても、行うのは人間すなわち教師です。成果はすぐには出ません。また成果を挙げるのに特効薬はありません。一つ一つやるべきことに、きちんと取り組むしかありません。教師も子供も「**凡事徹底**」を図ることが目指す

学校像を達成するにつながると考えます。

改めて 板二小が目指す学校とは

【子供から見て】

- ① 受容的、共感的、肯定的な雰囲気があふれる学校
- ② 自分の居場所がある学校（一人一人が認められているという思いをもてる学校）
- ③ やればできるという思いを実感させてくれる学校

【教職員から見て】

- ① いつまでも勤務していきたいと思う学校
- ② 誇りをもてる学校
- ③ 各自が職責を果たすと共に、必要な場合助けあい、組織として取り組める学校

【保護者から見て】

- ① 通わせて良かったという思いをもてる学校
- ② 学校ならびに教員を支えたいと思う学校

【地域から見て】

- ① 地域の自慢できる誇れる学校
- ② 学校ならびに教員を支えたいと思う学校

3 板二小が目指す教師像

本校は、ほぼ単学級です。保護者は祖父の代から本校に通っている層と新たにこの地域に住みはじめた層がいます。昨年度は創立100周年を迎えた歴史と伝統のある、そして地域の方々の思い入れが強い学校です。いずれにしても共通しているのは、自分の子供を手厚く見守って欲しいという思いです。

また家庭環境が複雑で、保護者自身も悩みを抱え、どうすればよいかわからない、相談する人がいない状況も見られます。このような状況の中、職務の範囲内で親身になって時間をかけ相談に乗ってあげることが子供にとっても良い結果に繋がります。このような状況を鑑みて、板二小で勤務し、板二小の教員でいる以上、保護者対応は迅速・丁寧に且つ、保護者や児童の実態に応じて、先手先手で対応することが求められます。

- ① 子供の耳に傾け、子供と良好な人間関係を築ける 児童理解の優れた教師
- ② 保護者や地域の方々と積極的にコミュニケーションを図り、疑問や相談には真摯に耳を傾け、初期対応を特に誠実に行う教師
- ④ 善悪をきちんと指導するとともに、正しくない行いに対しては、毅然とした態度で 責任をもって、徹底した指導を行う教師
- ⑤ 課題に対して、様々な手だてを考え、実行できる教師
- ⑥ 授業力向上を達成するために、自らの資質向上を目指し、自分に厳しい教師

- ⑦ 一人一人の児童の良さを認め、**持ち味を伸ばし育てる教師**
- ⑧ 自己の**職責を自覚し**、きちんと**果たす**ことができる教師
- ⑨ 自分の学級や担当の**ことだけでなく**、他の教職員と協働し、**組織の一員として行動できる教師**

4 板二小が目指す児童像

(学びのエリアで目指す児童像)

「自律」と「自立」

○自ら考え、挑戦し続ける子

○自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子

○心と体を大切にし、困難にも立ち向かえる子

🏠 学びのエリアでの具体的な取組

- ① 読み解く力の基礎的読解力を基盤に、自己で選択・決定・調整できる授業等による学力の定着・向上（板橋区教育委員会板橋の教育ビジョン研究奨励校）
- ② 一人一台の端末を用いた個別最適な学びの充実と、主体的に学習する力の育成
- ③ S D G s を意識した地域・街との関わりのある総合的な学習の時間の推進
- ④ 児童・生徒の交流活動の充実
- ⑤ 特別の教科 道徳の共通重点指導（「善悪の判断、自律、自由と責任」）の実施
- ⑥ コミュニティ・スクール委員会の活性化
- ⑦ 学級活動を中心とした主体的に考え実践していく態度の育成

5 学校の教育目標

○ 自分でする子ども【自立】【創造】

自分で学ぶ意欲と強い意志をもち、主体的に実践する児童を育成する。

○ 思いやりのある子ども【貢献】【共生】

豊かな心をもち、自他の人格を尊重し、人との関わりを大切にする児童を育成する。

○ じょうぶな子ども

健やかな心と体をもち、心身共に健全な生活を目指す児童を育成する。

6 板二小の教育活動の二つの最重点項目☆印と、五つの重点項目○印

☆環境教育 ・ビオトープを中心に据えた取組（ユネスコスクールとして）
（国連ユネスコスクール認定校）

☆学力向上 ・小中9年間の義務教育をつなぐ「読み解く力」を基盤に、自己で決定・選択・調整できる授業等による学力の定着向上
（板橋区教育委員会研究奨励校）

○人とのかかわり（良好な人間関係づくり）

○礼儀・規律の徹底

○家庭・地域との連携

○一人一台の端末の効果的な活用

○教科担任制の導入による体育の充実（東京都教科担任制等推進校）

7 学校の教育目標に関する 目標と具体的な取組

○自分でする子ども……知【自立】【創造】

本校の
重点項目

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

・学習規律の確立を図る……規律の徹底が学力向上に通じる。（教師の力量）

・読み解く力（読み解く力を育む6つの視点を意識し、教科書を用いて教科書で学ばせる）を基盤として取り組む **研究主任**

・ノート指導（ノートへの記録の徹底から内容の充実へ）の充実

タブレットを道具として使うようになったからこそ、その分、意図的に筆記の場も多く設定する。 **1, 2年担任の力量**

・個に応じたきめ細かな指導の実施 ⇒個別最適化

目をよりかけ、手をよりかけなければならない児童への対応

・算数少人数加配教員、学力向上専門員、ボランティア等の効果的な活用。

・スタディアップタイムの充実 ⇒読み解く力の育成の継続。

・放課後学習教室、夏季学習教室の実施 ……宿題忘れをやらせる場でない。

ドリル学習は学校でなくてもできる 分からない部分を再度指導（授業）する場として取り組む。

・読書活動の充実 読書を通じて語彙の獲得

・書くことの重視 1時間の授業の中で文字を、文章をたくさん書かせる。

ふりかえり まとめを毎時間文章で書かせることは必須

② 家庭学習の習慣化 **研究主任**

・宿題指導の工夫改善（ドリル的学習は、できる限りタブレットパソコンを用いる。

・読み解く力に関連する課題を継続的に取り組ませる。

（スタディアップタイムでの「読み解く力」の育成に係わる問題への取り組み）

・自主学習の取組推進（4年生以上の自主学習ノートを使っでの取組）

⇒ 家庭学習でも 自己で選択・決定・調整できる学習の仕方を。

児・6	家で毎日学習していますか。
保・3	授業規律が身に付くよう指導しているか。
保・2	基礎学力が身に付くように手立てを取っているか。
評	全国や都の学力調査において、実施教科全てで、国（都）の平均とほぼ同等か、上回っているか。
評	校内 RS の同一児童の前年度比較値は？また年度当初と年度末の同一児童の比較値は？
評	子供たちに、1 時間の授業において最低ノート 1 ページの量を書かせているか

- ③ 主体的、協働的な学びのある授業実践 **全教員**
- ・板橋区（学びのエリア）授業スタンダードの実践（なぜ？問いかけ ・振り返り ・学び合いの重視）
 - ・言語活動を重視した授業の実施
 - ・体験活動を取り入れた授業の実施
 - ・一人一台端末の効果的な活用（デジタル教科書、電子黒板、実物投影機、など全ての ICT 機器を含む）
 - ・読み解く力の基礎的読解力を基盤に、自己で選択・決定・調整できる授業等による学力の定着・向上 ⇒学びのエリアの取り組み
 - ・探求的な学習の推進（総合的な学習の時間）※学びのエリア重点
総合的な学習の時間内に郷土愛に関するテーマを設ける。
- 3～6 年担任**
- ・学級や学校における生活づくりへの参画（学級活動）※学びのエリア重点
特活主任
 - ・第二図書室の活用 ペアやグループでの協働学習時に積極的に活用する。

児・1 3	授業中、自分の考えを書いたり、発表したりしているか
児・	学級会では学級や学校をよくするための意見を考え言えたか
保・1	学習内容がわかりやすく、楽しい授業をしていますか。
保・1 6	学校は、タブレットパソコンを十分活用し、一人一人の子供たちが意欲的に学習に取り組むような工夫をしているか。

○思いやりのある子ども……徳【貢献】【共生】

生活主幹 道徳主任

共通行動・共通指導

①挨拶・返事・清掃活動の重視。

・挨拶は「自分から 気持ちをこめ 誰にでも 欠かさず」

相手の目を見て 聞こえる声で

・返事は「欠かさず、聞こえる音量で 誰にでも」

- ・清掃活動は静かに 隅々まで 心を「こめて」 迅速に

児・5 あいさつは欠かさずしていますか。

保・4 生活規律が身に付くよう指導していますか

②心の教育の充実

道徳主任

- ・道徳授業の充実（特に「善悪の判断、自律、自由と責任」は※学びのエリア重点）

（児童の振り返り、ノートへの記入、）

いじめは、どんなことがあっても見過ごさない。許さない。

- ・人権感覚の醸成

（栽培飼育活動を通じて、人権に関する講話、道徳、いじめ防止月間、いじめアンケート、いじめ防止基本方針）

- ・ルールとマナーの遵守の徹底（生活指導の充実）

児・9 友だちと仲良く生活していますか。

児・7 学校の約束を守っていますか。

保・7 児童に思いやりや規範意識を育てているか。

保・9 人権を尊重する姿勢で子供の指導に当たっているか。

③人に喜ばれる、人を気持ちよくさせる行動の重視

特活主任

- ・地域清掃、募金活動などへの取組

保・8 地域清掃や募金活動などの奉仕活動を通して、健全育成を図っているか

④豊かな人間関係作りの推進

児童理解

- ・異学年交流（たて割班による活動 …… 児童集会 遊び 学級会 清掃板二まつり等あらゆる場で工夫して）

- ・良好な学級集団作り（学級経営・専科経営の徹底）

学級が礎 学級経営力とは、学級担任力
毎年受けもった学級が落ちつかない場合、自身の学級経営力を磨く必要あり

- ・幼保小中との交流活動の実施（幼稚園、保育所、中学校との交流）

1年担任

- ・Hyper Q-Uを活用した居場所・充実感のある学級作り

- ・特別活動の取組

特活主任

（学級活動の時間を大切にし、自分たちの身近なことを自分たちで考える）

（板二まつり、一年生を迎える会、六年生を送る会、各種集会、運動会 音楽会、入学式、卒業式等）

- ・地域人財の活用（昔遊びや総合学習の郷土愛をはじめとするゲストティーチャー 1年生下校時付き添いなど）

全教員

児・2 学校に行くのが楽しいですか。

児・10 学校の行事は楽しいですか。

児・11 行事、委員会活動、クラブ活動、班活動、係活動、当番活動などで友だちと協力して活動することができましたか。

保・13 児童は楽しく学校生活を送っているか。

○じょうぶな子ども……体

体育健康委員会を中心に板橋第二小体力向上推進計画に基づき取り組む。

①教科体育の充実

体育専科 体育主任 体育副主任

- ・運動の質と量の向上（教師が各運動の特性をしっかりと理解して指導。意図的計画的な体育の授業実践）
- ・体力調査を踏まえた運動内容の工夫。

②運動の日常化

全教員

- ・休み時間の確保と戸外遊びの奨励。
- ・全校持久走月間や校内持久走記録会の実施
- ・全校縄跳び月間の設定、体育朝会での全校縄跳びの実施

児・3 自分の体力作りに取り組んでいますか。

保・6 児童の健康体力の増進を図っているか。

③健康教育の推進

栄養士 養護教諭 体育主任副主任 体育専科

- ・食育の取組
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

児・1 2 給食は残さず食べていますか。

8 目指す学校像・児童像からの具体的な目標と取組

(1) どの子ども充実感、帰属感が味わえる学校づくり

①特別支援教育の充実

特別支援教育コーディネーター 特別支援教育専門員 STEP UP 教員
+SC 心理士

- ・特別支援教室の充実、
- ・校内特別支援委員会の充実や推進
(入退級判定準備、行動観察のみで終わるのでなく、発達障害のある児童への指導法などを巡回指導教員と特別支援教育コーディネーターが中心となって提案)

居場所づくり

②夢や目標や意欲をもたせる指導・支援

- ・キャリア教育の推進 キャリアパスポートの活用 生活主幹 道徳主任

③達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定

- ・児童一人一人に様々な役割と活躍の場面を意図的計画的に与える。

- 児・ 2 学校に行くのは楽しいですか。
保・ 1 3 児童は楽しく学校生活を送っているか。
保・ 1 2 児童の努力を認めたり励ましたりして温かく接しているか。

(2) 学ぶ環境の整った、美しい学校づくり

①清掃の行き届いた清潔な環境の整備

(特に教員机周りを 教師自ら模範を)

②整理・整頓された教材・教具

・普通教室だけでなく、特別教室、専科教室、準備室も常にきれいに。

③靴のかかどがそろった昇降口、傘がきちんと入れてある昇降口

④児童に働きかける教室環境や掲示物の工夫⇒校内掲示計画に沿って

⑤教室内の統一された掲示物と掲示場所 全面掲示板には掲示しない等

- 保・ 1 9 学校内は、清潔に保たれ、校内掲示など工夫してあり
良好な教育環境が保たれていますか。

(3) 安全・安心で、信頼される学校づくり

① 施設・設備・教材の点検と修繕

- ・安全点検日の設定と実施
- ・日常の校内巡視

危機管理 油断大敵

② 安全に配慮した教育活動の実施

- ・綿密な計画のものと実践

③ 防災・防犯・交通安全指導の実施

- ・防災教室、セーフティー教室、薬物乱用防止教室、不審者対応訓練、情報モラル教室、安全マップ作り等の実施

④ 各種マニュアルの整備と改善

- ・光化学スモッグ対応、高温（気象）対応、欠席時対応、不登校対応、アレルギー対応、不審者対応、保護者対応等

⑤ 実際に即した（避難）訓練の実施（アレルギー対応研修等も含む）

⑥ 個人情報・個人に関する（係わる）情報への意識

⑦教員による服務事故防止

- 保・ 1 1 安全確保や安全対策に配慮をしているか。

(4) 保護者・地域等、外部とのつながり

問題がおきてから、会話をするのではなく、それ以前にこちらから声かけし、会話することが重要。教師の積極性が問われる。近隣住民には必ず挨拶を。皆さん見えています。

電話連絡時、登下校時、保護者会終了後
来校しない保護者へ がポイント

日頃のコミュニケーション

①参観・懇談会・保護者面談・家庭訪問による相互理解の推進

②教育活動の積極的な公開と発信

- ・ホームページ、
- 学校だより、
- 学年だより、
- ほけんだより等を
- 通じての発信。

情報共有は連携の基本。発信しなければそれだけ先入観をもたれる。各種便りも事務的連絡だけで終わらない。

閉ざされた学級にならない。いつでも誰でも授業を見られるように。参観日でなくても保護者に見せられるように。教員同士が気軽に授業を見合える関係で。

③地域人財の積極的な活用

- ・学校人財バンク（仮称）の活用

④保護者による支援、ゲストティーチャー、出前授業

- ・iCS 地域コーディネーター（学校支援地域本部）の活用

※学びのエリア重点

iCS を活用しないと、学校だけで何でもできるとわかってしまう。

⑤学校評価の実施と結果の公表
及び学校運営の改善

- ・iCS による学校運営への参画

iCS 委員会への 教員の参加

保・15 保護者や地域の人々が積極的に教育活動に関われるようにしているか。

保・16 保護者からの連絡や相談に真摯に取り組み、対応しているか。

保・17 各種たよりやホームページなどを通して、学校や子供の様子をわかりやすく伝えているか。

保・18 保護者や地域と共に子供たちを育てていく姿勢があるか。

保・20 保護者は学校の教育活動に積極的に関わっているか。

9 特色ある教育活動の視点からの具体的な目標と取組

①SDG's の項目や ESD の視点を踏まえた環境教育の推進

環境委員長

- ・環境教育年間計画の確かな実践
- ・総合的な学習の時間における「環境」に関する事項の系統性
- ・ビオトープの活用
- ・栽培活動の充実
- ・3R 活動の推進

本校の特色・最重点項目

- ・児童のビオトープ管理（児童会 環境委員会 地域人材・人財【外部の力】）

- ・環境教育推進委員会の充実（ユネスコスクール校として）
- ・各教科、総合的な学習の時間、学活、行事における取組（自然発見カード、1年間の環境教育の取組掲示等）

保・5 環境教育の充実を図っているか。

10 教職員 学校組織に関して

(1) 教職員としての資質向上

- ① 一人一人を大切にしたい愛情あふれる指導・支援
- ・児童理解、保護者理解、迅速丁寧な支援相談

研修は、随時、必要な時、即実施。実践重視で。研修はしてもらいだけでなく、みんなで学び合う。

② 教職員研修による授業力の向上

- ・読み解く力の基礎的読解力を基盤とした児童一人一人が自己で決定
- ・選択・調整できる授業等による学力の定着・向上を目指した校内研究

どの子もねらいを達成できるような授業の工夫。

「読み解く力」を支える基礎的読解力の6つの分類を意識した教科書を用い、教科書で学ばせる授業の重視。

（校内研では、通常級担当教員は、養護教諭を除き、全教員最低1回公開研究授業を実施）

（STEP UP 教員は年1回 他の教員に見てもらい機会を設け、授業者参観者が互いに情緒的に課題のある児童の指導に活かす）

週案には必ず上記の6つの視点を記載。

- ・悉皆研修、自主研修の活用

③ 板橋（地区）授業スタンダードの確実な実践

④ 職層や立場・役割を自覚した行動

⑤ 各自の能力開発

- ・自己申告の教職員が身に付けるべき4つの力（「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」）の活用

⑥ 新学習指導要領に伴う 外国語活動・英語、プログラミング教育についての校内研修 GIGA スクール構想に関する校内研修 特別支援教育に関する研修等々 その時に応じてタイムリーな研修を

タブレット端末の有効活用は、区の重点施策。各自で授業、家庭学習等での有効活用等を検討・実践する。5年算数、6年理科におけるプログラミングは、絶対！！

(2) 相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上
教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化

① 支え合う協働的な関係の構築

支え合う前提として、一人一人が自身の職責を果たした
上でのことを忘れない

報告なのか連絡
なのか相談
のかをはっきり

りさせる

② 報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的な対応

自分なりの考えや方策をもつての相談。

(3) 公務員としての服務規律の徹底

服務事故は、個人の問題だけで済まされ
ない。学校中に影響が出る。

自覚 責任感
危機意識

① 服務事故 0

・勤務時間の厳守、体罰の禁止、個人情報管理の徹底、飲酒運転の禁止、わい
せつ行為やセクシュアルハラスメントの未然防止、会計事故等々

信頼を築くのは長い時間と多大な労
力がかかるが、崩れるときはあっとい
う間。

その場にふさわしい服装にも注意。式
には・授業公開では・体育等運動時
には……

個人情報の紛失防止の原則 5 の徹底

○複数対応 ○名簿でチェック ○枚数確認 ○手渡し

○鍵＋整理整頓

更に個人情報持ち歩き袋の活用

体罰の禁止

○セルフコントロール（深呼吸、その場を離れる、他の人に一時任せる等）

(4) 各職層が果たすべき内容の熟知と実践

教諭、主任教諭、主幹教諭、副校長、校長、それぞれの役割を尊重すると
もにその職責を果たす。必要な場合は、関係者が集まって話し合うようにする。

※教諭 → 児童の教育をつかさどる。(学習指導・生活指導・特別活動指導・
保護者対応等) 担当した校務分掌に取り組む。

※主任教諭 → 児童の教育をつかさどる。(学習指導・生活指導・特別活動指導・
保護者対応等)

重要な校務分掌の長として校務分掌に取り組む。(学校運営)

教諭への助言や支援を行う。学年主任、専科主任の場合、学年
経営、専科経営を行う。

※主幹教諭 → 児童の教育をつかさどる。(学習指導・生活指導・特別活動指導・
保護者対応等)

重要な校務分掌の長として校務分掌に取り組む。(学校運営)

関係分掌間や管理職からの連絡調整、教員の人材育成、教諭・
主任教諭に対する指導監督、副校長の補佐を行う。

学校の中心は子供。子供が学校にいるときは、子供から離れない。

※管理職 →四管理二監督を行う。

※ 1 学校教育の管理 2 所属職員の管理

3 学校施設の管理 4 学校事務の管理

※ 1 所属職員の職務上の監督 2 所属職員の身分上の監督

(5) 働き方改革 校務改善の徹底

○必要なものは残し、削減、改善できることは削減・改善する。

1 1 その他

① 柔軟な対応をする。

・一度決めても、状況や変えた方が良くと判断した時には、状況に応じて年度途中でも変えていく。

② 前例踏襲 (いいんじゃないか このままで)

思考停止 (なにがおかしいんだ。いまのままでいいんじゃない。何も考えずにいつものようにこなしていく)

固定観念 (決まっていること、例年それでやっている。いまのままでいい)

自己制止 (これ以上無理だ。自分は他にもやっている自分には今のままでいい。) 4つの項目のリミッターを外す。

③ 学級担任は、1年間、児童が学校に来るのがいやになるような子を作り出さない。また児童や保護者からの、大きな苦情の原因を作らない。

④ 専科教員は、学級担任の力をかりずに学習規律を身に付けさせ、担任の授業より専科の授業が楽しいと思わせる。

考えやアイデアは大胆に 固定観念にとらわれず！発想豊かに！！

児童の指導や保護者対応は、差を付け、先手先手、細やかに、丁寧に、綿密に！

本校は小規模校、朝登校時、休み間等 全員で指導に当たるときは指導に。互いに助け合い 教職員みんなで

チーム学校という言葉聞くが、その前提として個人がその職責を果たした上で存在する言葉であることを認識する。

教諭より 主任教諭に 主任教諭より 主幹教諭に力があるはず。

最後に 再度

教師の「凡事徹底」

※□内は、学校関係者評価中間評価時に行う 児童向け・保護者向けアンケート項目の例。

保・15 保護者や地域の人が積極的に教育活動に関われるようにしているか。

保・16 保護者からの連絡や相談に真摯に取り組み、対応しているか。

保・17 各種たよりやホームページなどを通して、学校や子供の様子をわかりやすく伝えているか。

保・18 保護者や地域と共に子供たちを育てていく姿勢があるか。

保・20 保護者は学校の教育活動に積極的に関わっているか。